

死亡事故の発生状況

「死亡(死者)」とは、交通事故によって発生から24時間以内に亡くなった場合(人)をいう。ただし、「30日死者の事故」の項では、「死者」を「24時間死者」という。

72件

【死亡事故の特徴】

74人

○令和元年以降、前年比で減少が続いていた死者数が増加に転じる

令和4年中の死者数は、前年に比べ4人(+5.7%)増加した。

○高齢死者の割合が半数を占める

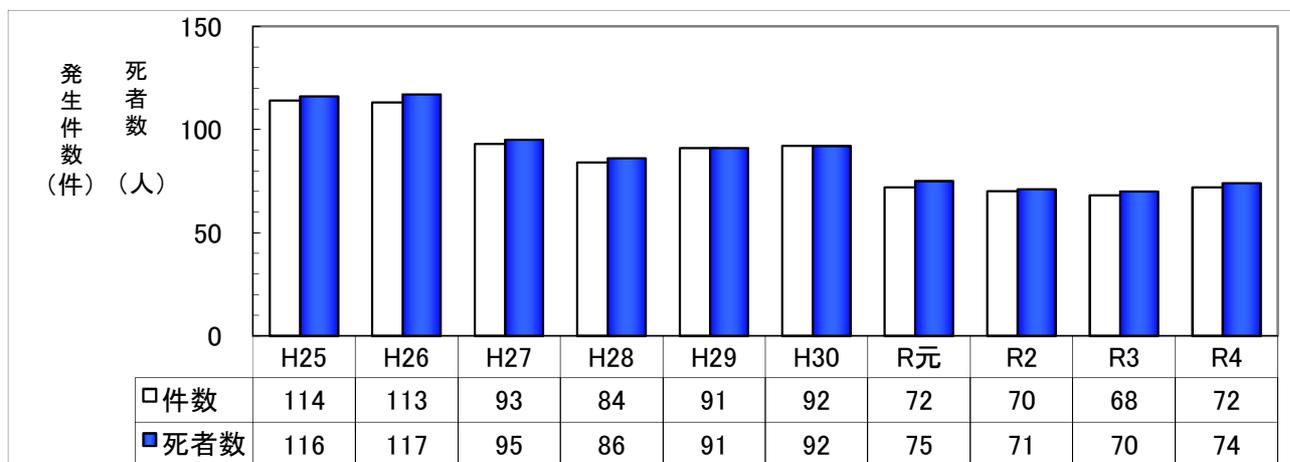
年代別死者数では、高齢者が38人(前年比-1人)で最も多く、全死者の51.4%を占めた。

○四輪乗車中の死者数が最も多い

四輪乗車中の死者数は、32人で前年に比べ7人(+28.0%)増加した。

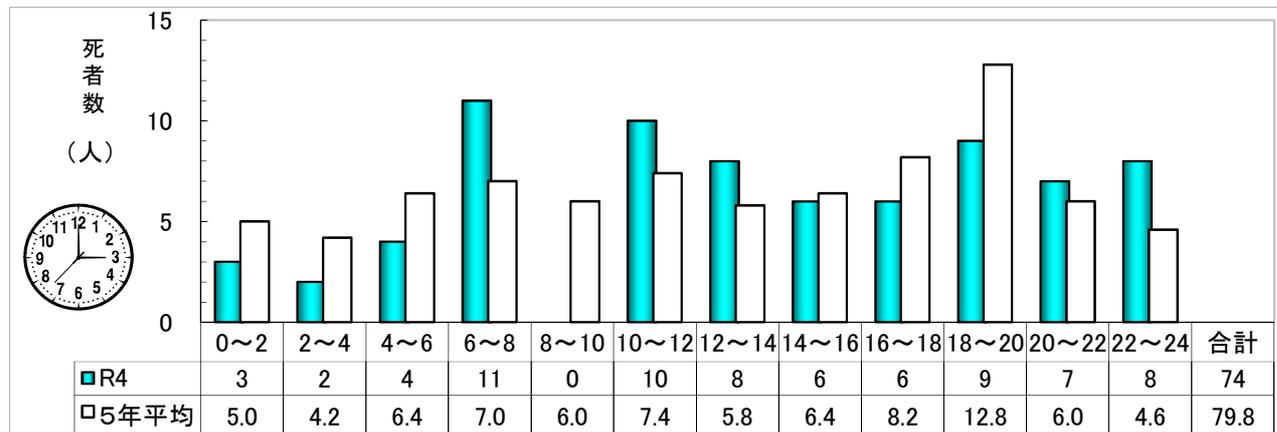


● 過去10年間の推移



● 時間帯別死者数

※「5年平均」とは、平成29年から令和3年の死者数の平均をいう。



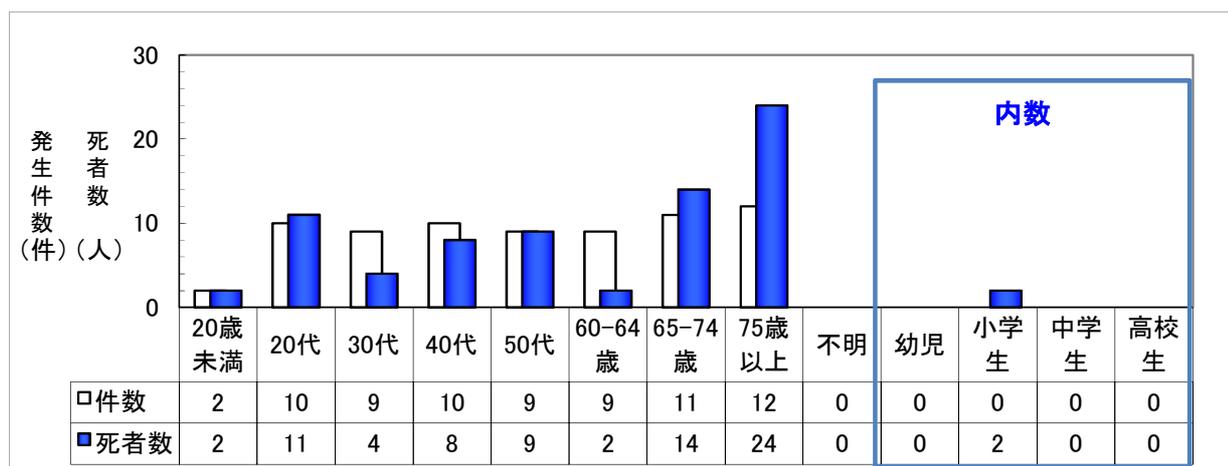
● 道路形状・事故類型別死者数

※「列車」とは、列車が当事者となった踏切上の事故をいう。

道路形状 事故類型	交差点			単路	踏切	その他	合計
	信号有	信号無	計				
歩行者×車	7	6	13	7	0	0	20
自転車×車	2	0	2	2	0	0	4
車×車	10	4	14	11	0	0	25
単独	2	6	8	14	0	2	24
列車	0	0	0	0	1	0	1
合計	21	16	37	34	1	2	74

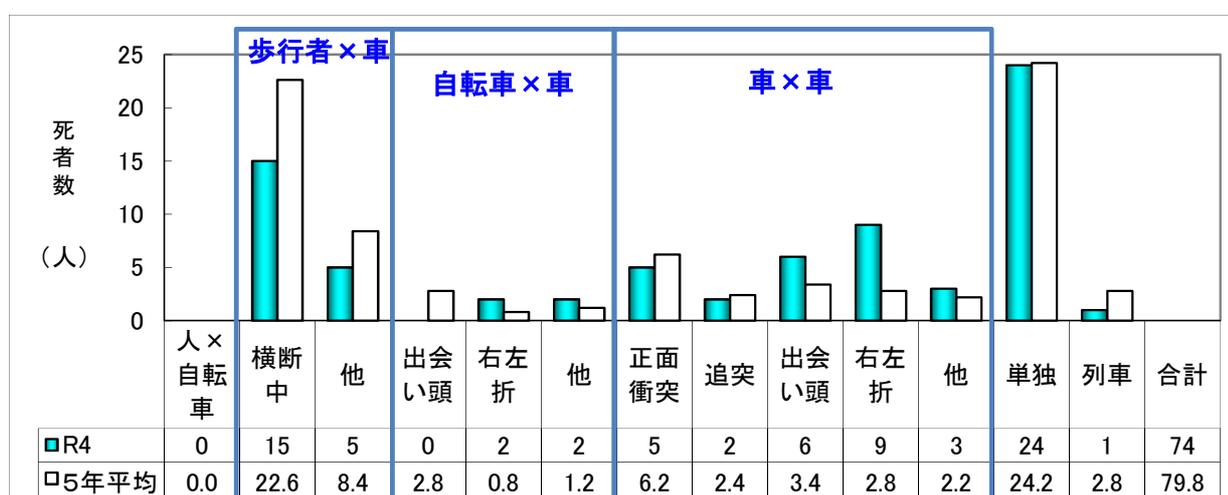
令和4年 死亡事故

● 年齢層別発生状況

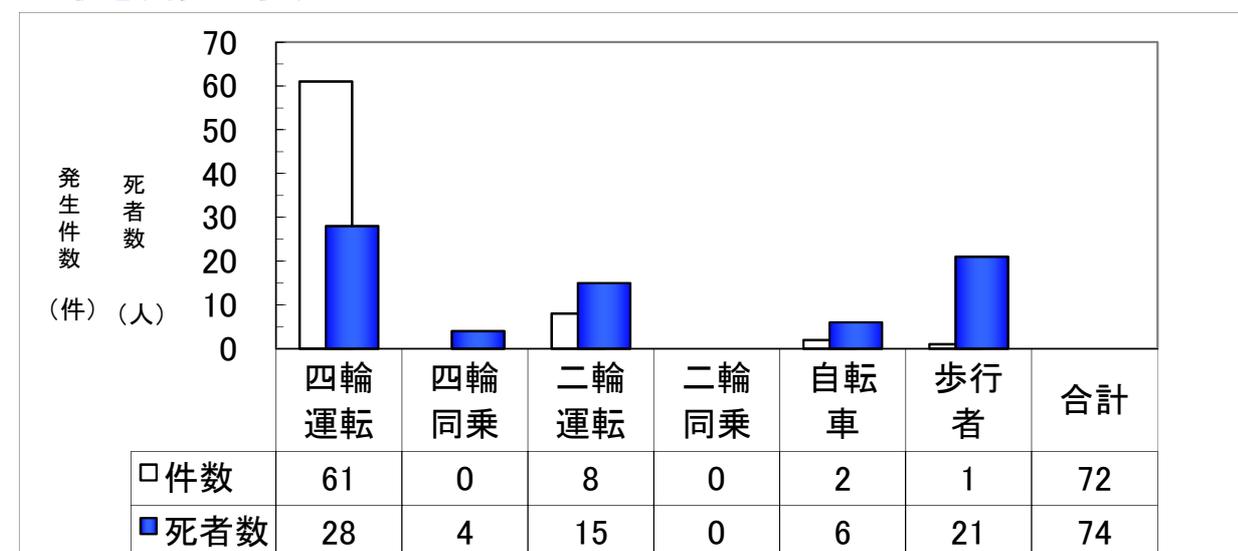


※ 件数は、事故の第1当事者の年齢層で、死者数は死亡した本人の年齢層である。

● 事故類型別死者数



● 状態別発生状況



※ 件数は、事故の第1当事者の状態別で、死者数は死亡した本人の状態である。